

人権教育だより 冬休み号

令和4年(2022年)12月23日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

～豊かな人権感覚と思いやりの心を育て、いじめや差別のない学校づくり～

12月12日に漢検主催の今年の漢字が発表されました。今年は「戦」でした。2月のロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射など「戦」争を意識した年になりました。本校では、1学期募集した人権標語の選定が行われ、最優秀作品として「**たすけよう こまっていたら 自分から**」が選ばれました。人権教育としましては、9月に1、2年生で平和教育、11月に人権講話(部落差別)を行いました。概要と生徒感想(抜粋)を紹介します。

【9月】 1年生「平和教育」・・・動画「海に沈んだ学友たち～沖縄対馬丸～」を用い、平和について考えました。



- ・770人以上の命が犠牲になっていることに胸がすごく痛みました。この事件を忘れない。
 - ・私たちは皆、恵まれています。だからこそ世界で起こる戦争について考え、止める義務があります。
- 2年生「平和教育」・・・動画「秘話～『知覧』にある米兵慰霊碑～」を用い、平和について考えました。
- ・知覧特攻平和記念会館について初めて知りました。改めて命の大切さがわかりました。
 - ・動画で特攻の詳細を聞いて思わず自己投影してしまい背筋がぞっとしました。
- 1・2学年で、平和への祈りを込めて鶴を折りました。

【11月】人権講話 演題「『誰もが輝く人権のまちづくり』の担い手に」講師 大里耕守様(前南関町教育長)

熊本県の重要課題や2016年に制定された「部落差別解消の推進に関する法律」、また令和になって県内で発生した部落差別の事例についての説明、差別事象発生からの対応3ステップ(確認・指摘・啓発)について講話していただきました。「誰にも人を傷つけていい権利は与えられていない」など、熱いメッセージがありました。

【生徒感想】

- 1年生 ・生まれた場所一つで差別を受けている人が、いまだに多く存在すると思うと、とてもつらく悲しいです。
- ・同じ人間なのに何が違うんだと、皆同じ人間です、何も違うことはないです。皆、一人一人輝いています。
- 2年生 ・差別が減るため、正しい知識で正しい形で指摘するというのがとても大切だと学びました。
- ・私の人権で「悩みは打ち明け、精神安定、自己確立を図る」ために「絆」が大切だと学びました。
- 3年生 ・相手を尊重した上で公平に関わる、態度で伝える、そうすると自分も他人も大切にできると思います。
- ・人権に対する意識を変える良い機会になりました。新しい意見、考え方を得ることができました。

人権コラム「いじめの定義!？」

皆さん、いじめの定義って何だと考えていますか。以前は1対多数という構図により、仲間はずれや暴力などのことでした。しかし、平成25年6月成立の「いじめ防止対策推進法」では、いじめの定義は「当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為」であり、「児童等が心身の苦痛を感じているもの」と定められています。つまり、1人からのいやがらせ(SNSも含む)も本人が心身の苦痛を感じるのであれば「いじめ」となります。そうならないよう、日頃から対面でのコミュニケーションや悩んでいる人がいたら、声かけをしてみてください。

